

平成 26 年度 事業団 報告書

事業団管理の概要

1. 理事会、監事会状況

平成 26 年 3 月 17 日 事業団職員人事異動により、事業団定款第 13 条第 3 項に基づき、理事持ち回りの上、承認を受け、橋本洋明氏の選任を行った。

平成 26 年 5 月 13 日 八代市社会福祉事業団監事会を開き、監事（馬淵 惺敬氏、徳田 武治氏）による平成 25 年度事業、会計収支決算等の全般にわたる監査を八代市立希望の里たいように於いて実施し、事業団定款第 19 条に基づき監事の承認を受けた。

平成 26 年 5 月 22 日 第 117 回（平成 26 年 2 回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成 25 年度事業報告・会計収支決算等の審議を行い、監事監査報告のうえ事業団定款第 19 条に基づき理事会の認定を受けた。また、平成 26 年度会計収支補正予算（案）、事業団理事の選任、事業団諸規程の改正について審議を行い、専決処分の報告としてグループホームおおぞら荘運営規程の全面改正、報告事項として施設長の任命を報告し、理事会の承認を受けた。

平成 26 年 5 月 23 日 平成 25 年度事業・会計収支決算の承認について、事業団定款第 19 条の規定により、八代市長の承認申請を行う。（平成 26 年 5 月 30 日付承認通知八市健福第 281 号）

平成 26 年 5 月 26 日 平成 25 年度資産総額の変更登記について組合等登記令第 2 条第 4 項及び第 3 項に基づき法務局への登記手続を完了した。（平成 26 年 5 月 28 日完了）

平成 26 年 12 月 25 日 第 118 回（平成 26 年 3 回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成 26 年度会計収支補正予算（案）、事業団定款の一部変更について、並びに事業団諸規程の改正について審議を行い、専決処分報告として職員給与規程の一部改正を報告し、理事会の承認を受けた。

平成 27 年 1 月 26 日 目的の変更登記について組合等登記令第 2 条に基づき法務局への登記手続を完了した。
（平成 27 年 1 月 30 日完了）

平成 27 年 3 月 24 日 第 119 回（平成 27 年 1 回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成 26 年度保養寮基本財産（建物）の取得に係る基本金組入について並びに平成 26 年度会計収支補正予算（案）、事業団諸規程の改正について、平成 27 年度事業計画・当初予算（案）、事業団定款の一部変更について、事業団人事案件について審議を行い、理事会の承認を受けた。

平成 27 年 3 月 26 日 平成 27 年度事業計画・当初予算の承認について、事業団定款第 18 条の規定により、八代市長の承認申請を行う。（平成 27 年 3 月 31 日付承認通知八市健福第 1442 号）

2. 経営計画

・本年度も財政改革に取り組み、事務費事業費経費等の削減を実施し、将来に向けて安定経営が出来るよう各施設の運転資金等の財源確保に努めた。

・本年度は、八代市立希望の里たいよう（障がい福祉サービス事業）の指定管理者と保養寮（養護老人ホーム）と八代市のぞみ母子センター（障害児通所支援事業）を自主事業、また、保養寮（高齢者短期入所事業）八代市のぞみ母子センター（八代圏域地域療育センター事業）の事業の受託事業として、利用者に対して質の高い福祉サービスを提供し、安全で安心して利用できるように施設管理運営に努め、特に職員の意識改革を図った。

○法人、施設経営への参画意識を高める

財政面においては大変厳しい状況下にあることを職員一人一人が認識し、施設等の基準収入（措置費、訓練等給付費）、業務委託収入、法人独自の自主事業収入を基本とし、事業経費の効率的な運用を行った。

○人材の育成

今、地域社会が求める福祉ニーズの内容は、より高度化、複雑化しており、このような複雑多様化するニーズに柔軟に対応しながら、福祉サービス利用者との人間性を尊重し、より満足度の高い福祉サービス提供するためには、各種業務に従事している職員一人一人が、組織人としてのモラルを高め自己啓発を行うと共に、その職種に応じた専門的知識・支援技術の向上に努めた。

3. 指定管理者の状況

・八代市との協定書の締結（平成 23 年 3 月 31 日）
希望の里たいよう 指定期間 平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の 5 年間（4 年経過）

4. 施設運営の変更等

相談支援事業所たいよう
・平成 27 年 4 月 1 日より事業団自主運営開始。

平成 27 年 2 月 9 日 熊本県へ障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業者として新たに指定申請書を提出（地域移行支援、地域定着支援）

平成 27 年 2 月 13 日 八代市へ障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業者として新たに指定申請書を提出（計画相談支援）

平成 27 年 2 月 13 日 八代市へ児童福祉法に基づき障害児相談支援事業者として新たに指定申請書を提出（障害児計画相談支援）

平成 27 年 2 月 23 日 熊本県より指定の許可がある（一般相談支援事業）
（熊本県指令障がい第 153 号 事業所番号 4330200694）

5. 苦情相談状況
- ・各施設に苦情受付担当者及び苦情解決責任者を置き、利用者が福祉サービスを適正に利用できるように相談業務を実施した。その結果、特に苦情に繋がるものはなかった。また、苦情解決相談委員会を開催し各施設の状況報告を行い、苦情解決第三者委員により助言をいただいた。
6. 施設長会
- ・事業団及び各施設の連携と円滑な運営を図るため、毎月1回定例的に開催した。
 - ・必要に応じて随時に施設長会を開催した。
7. 職員会議
- ・事業団職員の意志疎通を図り、連携を深めるため、平成26年9月、平成27年2月に事業団会計庶務担当者会議を定期的に実施した。
 - ・なお、事業団内部経理監査を併せて実施した。
8. 職員研修
- ・事業団職員の資質向上を図るため、各施設において内部研修等を実施した。
 - ・事業団職員が各施設の運営状況・事業内容の把握をするため、事業団全体職員会議を実施した。
9. 人事関係
- ・事業団組織(各施設間)機能をより強化し、かつ、活性化を図りながら円滑、円満で効率的な運営ができるよう職員体制を整え、又職員の活力を図るため人事異動等を実施した。
 - ・定年退職者<平成27年3月31日>八代市社会福祉事業団 事務局長 古山 茂氏
10. 寄附関係
- ・平成26年 6月 2日 円応教八代教会様より 174,070円 (のぞみ母子センターへ寄附)
 - ・平成26年12月18日 市婦人会連絡協議会様より 20,000円 (希望の里たいようへ寄附)
11. 行事実施表・・・・・・別表1

12. 受託施設等の運営事業状況

		ページ
(1) 老人福祉施設	保寿寮	別途資料 16～27 参照
養護老人ホーム(入所)		
(2) 障害児通所支援事業所・八代圏域地域療育センター事業	八代市のぞみ母子センター	別途資料 28～39 参照
(3) 共同生活援助事業	グループホームおおぞら荘	別途資料 40～49 参照
(4) 障がい福祉サービス事業所	八代市立希望の里たいよう	別途資料 50～62 参照

平成 26 年度 行 事 実 施 表

月 別	内 容
H26. 4	1. 第 1 四半期委託料 1. 辞令交付 (昇格, 定期昇給他) 4. 臨時施設長会 (たいよう) 21. 給与支払 24. 定例施設長会 (たいよう) 30. 税理士監査 (決算)
5	7. 施設長・庶務担当者会議 (たいよう) 13. 事業団監事会 16. 臨時施設長会 (たいよう) 21. 給与支払 22. 事業団理事会 26. 八代市社会福祉協議会評議員会 28. 定例施設長会 (たいよう) 28. 人事評価勉強会 (社労士舎) 30. 県経営者協議会経営者研修会
6	6. 施設視察研修 18. 給与支払 18. 税理士月次監査 24. 人権問題啓発推進協議会総会 24. 定例施設長会 (たいよう) 25. 熊本県指導監査説明会 30. 期末勤勉手当支給
7	1. 第 2 四半期委託料 3. 熊本県指導監査 (保寿寮) 5. いきいきふくしスポーツ大会参加 17. 全事協九州ブロック会議 18. 給与支払 22. 安全運転管理者等協議会分合同会議 23. 人事評価勉強会 (社労士舎) 25. 定例施設長会議 (たいよう) 29. 職場メンタルヘルス研修
8	4. 臨時施設長会 (たいよう) 11. 安全運転管理者等講習 21. 給与支払 22. 定例施設長会議 (たいよう) 25. 公正採用選考人権・同和問題啓発推進員研修会 28. 人事評価勉強会 (社労士舎)
9	5. 県内事業団事務職員研修会 19. 給与支払 19. 臨時施設長会 (たいよう) 21. 職員採用試験 25. 庶務担当者会議 (内部監査) 25. 新会計基準研修 (税理士月次監査) 26. 定例施設長会 (たいよう) 26. 苦情解決第三者委員会
10	1. 第 3 四半期委託料 9. 県内事業団事務局長会議 10. 八代市ふれあいフェスタ会議 17. 臨時施設長会 (たいよう) 19. 職員採用試験 21. 給与支払 22. 人事評価勉強会 (社労士舎) 27. 定例施設長会 (たいよう) 29. 臨時施設長会 (たいよう) 31. 税理士月次監査
11	8. 第 6 回たいよう祭参加 14. ホームページ作成打合 21. 八代市ふれあいフェスタ準備 21. 給与支払 22. 八代市ふれあいフェスタ参加 26. 定例施設長会 (たいよう) 11~14. 事業団職員健康診断の実施
12	1. 障がい福祉計画ヒアリング 9. 不在者投票立会 (保寿寮) 10. 期末勤勉手当支給 19. 給与支払 22. 税理士月次監査 (年調) 25. 定例施設長会 (たいよう) 25. 事業団理事会 26. 年末調整支給 17・24. 事業団職員健康診断の実施
H27. 1	5. 事業団職員仕事始め式 (たいよう) 5. 第 4 四半期委託料 20. 税理士月次監査 21. 給与支払 26. 八代市社会福祉協議会評議員会 28. 定例施設長会 (たいよう) 28. 人事評価勉強会 (社労士舎)
2	17. 八代市法人監査 (たいよう) 20. 給与支払 24. 市長寿支援課との打合 (税理士舎) 25. 定例施設長会 (たいよう) 27. 庶務担当者会議 (内部監査) 9. 相談支援事業指定申請書提出 (熊本県へ) 13. 相談支援事業指定申請書提出 (八代市へ)
3	16. 臨時施設長会 (たいよう) 20. 給与支払 24. 事業団理事会 25. 定例施設長会 (たいよう) 31. 退職辞令交付式

老人福祉施設 養護老人ホーム 保寿寮

1. 施設理念

敬愛の心で入所者の生活を支えます。

2. 基本方針

- ・入所者の人格を尊重し、思いやりの心と笑顔で接します。
- ・安全で安心な生活環境を提供します。
- ・それぞれの能力にあった支援を計画的に行います。
- ・開かれた施設・地域に根ざした施設を目指します。
- ・職員は資質向上を目指し、常に努力します。

3. 処遇方針体系 (別紙資料1)

4. 入所者の状況

平成26年4月1日現在

入所 状況	入所者数			
		男	女	合計
	市内	17	32	49
	市外	1	0	1
合計	18	32	50	
平均 年齢		76.2	83.6	80.9
最高 年齢		89	96	—
最低 年齢		64	70	—

市外入所者内訳 (宇城市1名)

平成27年3月31日現在

入所 状況	入所者数			
		男	女	合計
	市内	16	33	49
	市外	1	0	1
	合計	17	33	50
平均 年齢		77.6	84.6	82.2
最高 年齢		90	97	—
最低 年齢		65	71	—

市外入所者内訳 (宇城市1名)

5. 年齢別入所状況

平成26年4月1日現在

	59歳以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳以上	合計
男	0	1	3	6	2	3	3	0	0	18
女	0	0	0	3	9	8	4	5	3	32
合計	0	0	4	9	11	11	7	5	3	50

平成27年3月31日現在

	59歳以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳以上	合計
男	0	0	1	5	5	3	2	1	0	17
女	0	0	0	2	9	4	8	7	3	33
合計	0	0	1	7	14	7	10	8	3	50

6. ショートステイ利用状況

利用者 7名 (男0名、女7名)
理由虐待、家庭の都合等
延べ日数93日

7. 外部介護サービス利用状況

・サービス内容：通所介護事業所（デイサービスセンター）利用
平成26年4月1日現在 合計19名
(要支援6名、要介護者13名)

	利用者数
男	3
女	8
合計	11

平成27年3月31日現在 合計15名
(要支援4名、要介護者11名)

	利用者数
男	4
女	8
合計	12

8. 障害者加算認定対象者増減状況

平成26年4月1日現在
(身障2名、知的3名、精神2名)
医療的診断書10名)

	対象者数
男	8
女	9
合計	17

平成27年3月31日現在
(身障2名、知的3名、精神2名)
医療的診断書10名)

	対象者数
男	8
女	9
合計	17

9. 職員の配置状況

平成26年4月1日現在

職種	人数
施設長	1
事務員	1
栄養士（嘱託）	1
看護師	1
主任生活相談員	1
生活相談員	1
主任支援員	1
支援員	2
支援員（嘱託）	1
支援員（臨時）	1
嘱託医	1
合計	12

平成27年3月31日現在

職種	人数
施設長	1
事務員	1
栄養士（臨時）	1
看護師	1
主任生活相談員	1
生活相談員	1
主任支援員	1
支援員	2
支援員（嘱託）	1
支援員（臨時）	1
嘱託医	1
合計	12

10. 施設整備状況

日 付	整 備 箇 所	整 備 理 由	金 額
4/11	食堂空調機用格子ドア取付け修理工事	食堂改修工事により食堂空調機の送風口が変わり格子ドア取付けが必要となった為。	132,300 円
4/24	大浴場換気扇取替工事	大浴場の換気扇が故障した為。	197,640 円
5/7	事務所電灯取替工事	事務所電灯にチラつきが見られ、光量も無くなった為。	57,132 円
5/31	生ごみ処理機スイッチ修理工事	生ゴミ処理機の緊急停止ボタンが故障した為。	54,834 円
7/1	施設看板設置	施設の看板を設置した為	210,600 円
7/31	ボイラー給水管修理工事	ボイラー給水管から水漏れが発生した為。	57,240 円
7/31	ボイラー給水管修理工事	ボイラー給水管を取替え後、別の給水管から水漏れが発生した為。	82,944 円
8/4	居室タタミ替え	居室の畳が水漏れ等により腐食が目立ってきた為。	242,352 円
9/30	厨房エアコン修理工事	厨房内のエアコンの冷風が出なくなった為。	136,080 円
9/30	誘導灯バッテリー交換	誘導灯のバッテリー無くなった為。	5,400 円
10/31	支援員室給水管修理工事	支援員室床下の給水管から水漏れが発生した為。	259,200 円
12/24	ボイラー修理工事	ボイラー一点検時に部品の老朽化により交換が必要となった為。	102,924 円
12/31	2階トイレ給水管修理工事	トイレの給水管が破裂し、大量の水漏れが発生した為。	37,800 円
12/31	1階トイレタンク修理工事	トイレのタンクが故障し、水が止まらなくなった為。	24,840 円
12/31	自家用発電機バッテリー交換工事	自家用発電機点検を実施した結果、指摘があった為。	366,120 円
1/30	事務所ドア修理工事	事務所ドアの油圧装置が壊れ、ドアの開閉が困難になった為	24,840 円
1/31	水中ポンプ修理工事	霊安室地下よりポンプの故障で水漏れが発生した為。	139,320 円
1/31	自家用発電機ラジエーター交換工事	バッテリー交換時に、ラジエーターから液が漏れていた為。	213,840 円
2/28	浄化槽原水、放流ポンプスイッチ修理工事	浄化槽保守点検時に老朽化に伴い漏電の恐れがあった為。	375,051 円
3/31	2階居室フローリング修理	水漏れがあり、畳が腐食した状態であったが、修理に伴いフローリング加工した為。	92,940 円
3/31	生ごみ処理機点検修理	正常に作動するか等の検査が必要であった為（老朽化に伴う）	20,000 円

整備合計金額：2,833,397円

11.平成26年度保寿寮入所者異動表

①. 在籍者数 (月初現在)

單位：人

[illegible]

②. 入退所異動者

(1) 入所

月/日	氏名(男女別)	異動先
5/1	N・H (女)	在宅
8/28	H・T (女)	グロッサム
9/22	N・H (女)	在宅

(2) 退所

月/日	氏名(男女別)	異動先
4/4	E・H (男)	八代市医師会(長期入院)
8/13	K・K (女)	あいあい荘
9/9	I・Y (男)	老健とまと

1 2. 事故報告件数

平成26年度件数 11件

(内訳)

- ①転倒(屋内) 8件
- ②転倒(屋外) 0件
- ③誤嚥(食事) 0件
- ④服薬(誤飲) 0件
- ⑤無断外出 1件
- ⑥救急医療 0件
- ⑦その他 2件

※職員会議にて報告・検討

1 3. 苦情相談件数

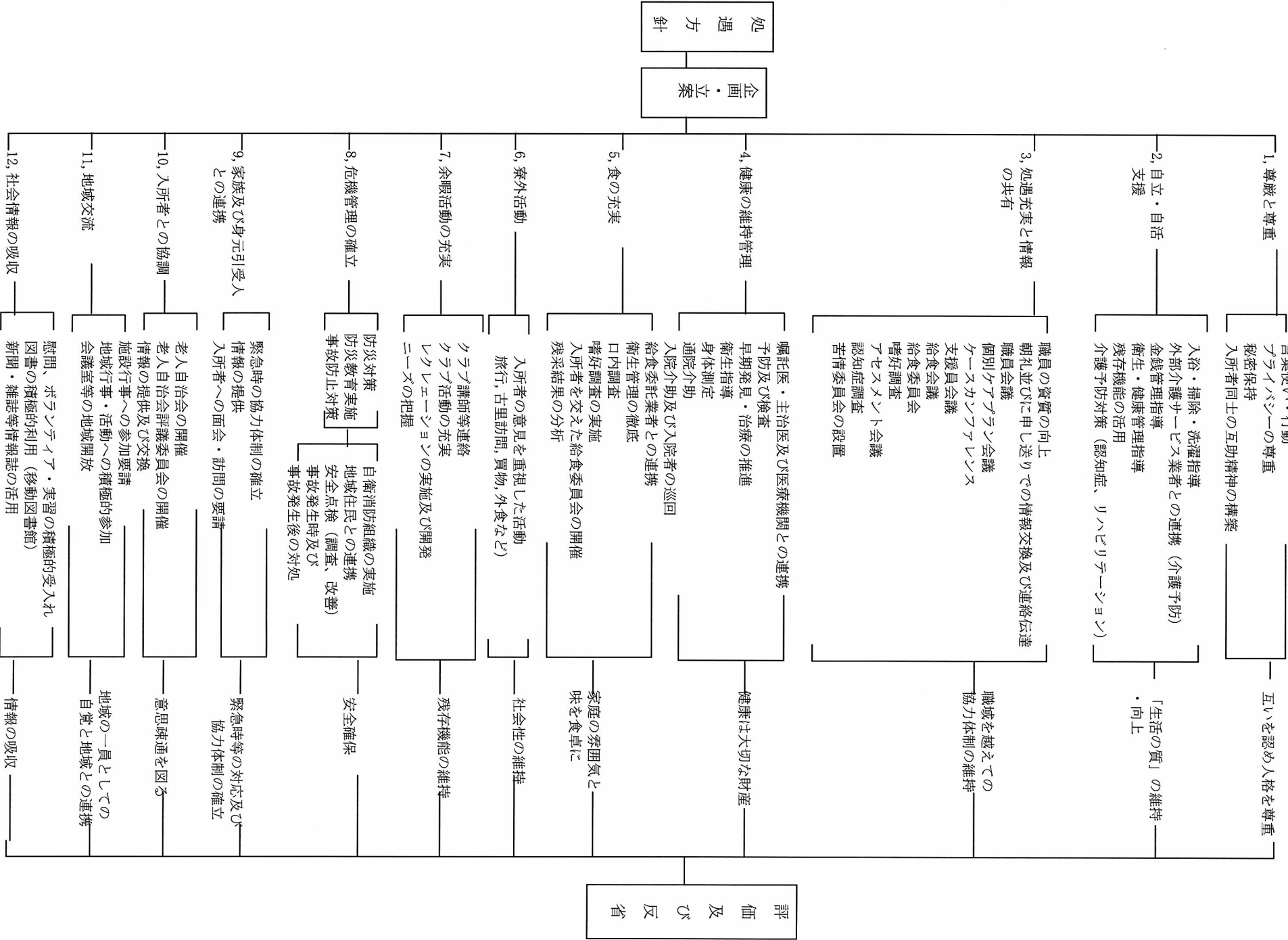
平成26年度件数 16件 (内:未解決0件)

(内訳)

- ①他入所者とのトラブル(暴力・暴言等) 6件
- ②被害妄想と思われるもの(居室侵入等) 2件
- ③職員の対応等に対するもの 3件
- ④身元・地域・事業所等外部からの苦情相談 0件
- ⑤その他 5件

※朝礼・終礼時にて報告・検討

処遇方針体系



行 事 実 施 表

月別	月 例 行 事	寮 内 行 事	健 康 衛 生	地域交流・慰問 関係・その他
4	- 自治会 - 職員会議 - ケアプラン会議	鯉のぼり作成・展示、寮内草取り、預貯金報告、	介護訪問調査、感染症対策委員会	瑞峰流慰問 シヨート利用 1 名
5	- アセスメント会議 - 理髪 - 体調測定	寮内草取り、菖蒲風呂、防火避難訓練、余暇活動(バリア見学)	認知症調査、介護訪問調査	ハ代び「ラチア」紫会慰問 日奈久小合同運動会見学 シヨート利用 2 名
6	- 誕生会 - コーヒータイム - 特別にー食(月 1 回) - 買物日	氷室祭参拝、苗植え(から芋)、寮内草取り (地域清掃活動)	介護訪問調査、保健衛生指導、給食委員会、エコ清掃、水質検査(温泉水) 室内消毒	日奈久小 4 年生交流会 シヨート利用 2 名
7		七夕、預貯金報告	検尿、健康診断(心電図・一般採血・ワトゾ)、介護訪問調査、布団クリーニング、感染症対策委員会、	日奈久小 4 年生交流会 日奈久老人会交流会
8		盆用品買物、仏壇磨き、盆供養法話	嗜好・口内調査、介護訪問調査、ガラス清掃、換気扇・トイレ排水溝掃除、布団クリーニング	清流高校職場体験 3 名 シヨート利用 2 名
9		敬老会、彼岸供養法話、寮内草取り・片付け	給食委員会、介護訪問調査、施設内外安全点、検貯水槽清掃	ハ代市盲人福祉協議会慰問 実習学生 2 名 (市長寿支援課担当)、シヨート利用 1 名
10		寮内草取り、芋掘り、預貯金報告、交通安全教室(市役所)、余暇活動 (天草方面、矢部方面)	介護訪問調査、インフルエンザ予防注射、浄化槽清掃、感染症対策委員会、白蟻検査	日奈久中職場体験実習
11		たいよう祭見学、余暇活動(天草方面)、ふれあいプロセス見学、妙見祭見学	介護訪問調査、エアコン清掃、室内消毒、白蟻駆除工事	花馬来寮、 ふれあいプロセス出展
12		忘年会、正月用品買物、大掃除、ゆず風呂、防災避難訓練、不在者投票(衆議院議員)	保健衛生指導、介護訪問調査、ガラス清掃、給食委員会、水道水法定検査	日奈久小 4 年生交流会、 ハ代び「ラチア」紫会慰問 ハ代び婦人会慰問
1		若風呂、初詣、 預貯金報告、どんどや	感染症対策委員会、給食委員会、地下タンク漏洩検査	ハ代び「ラチア」紫会様慰問 入所者状況調査 シヨート利用 1 名
2		豆まき	食事摂取調査、給湯器洗浄	代陽校区福推協議会慰問 シヨート利用 1 名
3		彼岸供養、花見、	健康診断(心電図・一般採血・検尿)、ワックス清掃、給食委員会	日奈久老人会交流会 二見中央保育園慰問 ハ代び「ラチア」紫会慰問

※ケースカンファレンス(随時実施) ※預貯金払出(毎月 1 回・随時) ※入浴(月・水・金) ※移動図書(毎月 1 回)

※クラブ活動

- ・生 花..毎月 1 回(7 名) ・詩 吟..毎月 2 回(9 名) ・書 道..毎月 2 回(10 名) ・音 楽..毎月 2 回(希望者)
- ・木 琴..随時活動(5 名) ・園 芸..随時活動(希望者) ・カラオケ..随時活動(希望者) ・絵画..毎月 2 回(希望者)
- ・フラダンス..随時活動(希望者) ・絵画..毎月 2 回(希望者)

※ワックス清掃(年 1 回)

※室内消毒(年 2 回)

※冷暖房機・空調機清掃(年 2 回)

※各種施設点検(随時)

※ガラス清掃(年 2 回)

※害虫消毒(毎月)

1、設置目的

児童発達支援

児童福祉法に規定する指定障害児通所支援事業所の趣旨に基づき、通所給付を受けた障害児に対し、日常生活における基本的動作及び知的技能を習得し、並びに集団生活に適応できるよう、適切かつ効果的な指導及び訓練を行うことを目的とします。

放課後等デイサービス

児童福祉法に規定する指定障害児通所支援事業所の趣旨に基づき、通所給付を受けた障害児に対し、生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、適切かつ効果的な指導及び訓練を行うことを目的とします。

2、利用登録者(障害別・年齢別)

児童発達支援事業 H27, 3

種別	計
肢体不自由児	1
自閉的傾向児	12
ダウン症児	1
知的障害児	5
難聴児	1
未診断	24
未受診	19
計	63

放課後等デイサービス H27.3

種別	男	女	計
年長児	19	3	22
年中児	18	0	18
年少児	8	2	10
0,1,2歳	7	6	13
計	52	11	63

種別	計
肢体不自由児	1
自閉的傾向児	25
ダウン症児	0
知的障害児	1
未診断	1
未受診	2
計	30

	男	女	計
1年生	9	4	13
2年生	6	2	8
3年生	4	3	7
5年生	2	0	2
計	21	9	30

3、療育の内容

児童発達支援事業

1) 年齢別クラス

- ・活動 月・火・木・金は 8 時 30 分～12 時 30 分、月・火・水は 13 時 30 分～17 時 30 分年齢別クラスで支援を実施。
- ・対象児 年齢別(年長、年中、年少、0、1、2歳児)の各10名程度の子どもと保護者。
- ・目的 小集団の活動を通して、日常生活や社会生活に適応できるような、運動能力、認知理解、コミュニケーション能力を促す。また、保護者のいる「困りごと」に対応。
- ・個別的指導 1 日一定時間以上の個別的指導を実施。

2) 身辺自立クラス

- ・活動 月曜日から金曜日までの間(所要時間:1 時間 30 分)支援を実施。
- ・対象児 身辺面において「自立」に専門的な支援が必要とおもわれる子ども。
- ・目的 「自分のことは自分で」の意識を育てることで人との関わりで大切なマナーを知ることと、子どもとその保護者に分かりやすい手順や場所の環境設定を指導。

3) 母子分離クラス

- ・活動 第2土曜日(療育時間:8 時 30 分～12 時 30 分)支援を実施。
- ・対象児 就学前の10名程度の子ども。
- ・目的 自分のことは自分で行い、保護者以外の人と関わる経験を積み、異年齢の子どもと関わる機会を作る。

放課後等デイサービス事業

- ・活動 月曜日から金曜日まで支援を実施。
- ・対象児 就学児童の10名程度の児童とその保護者。
- ・目的 生活能力の向上のために必要な訓練を行い、また、社会との交流を図ることができるよう、指導及び訓練を行う。

一週間の流れ

時間	曜日	月	火	水	木	金	第2土
8:30～12:30		年中児1	年中児2	身辺自立	年少児	0,1,2歳児	母子分離
13:30～17:30		年長児1	年長児2	年長児3	身辺自立	身辺自立	
		放課後等デイ	放課後等デイ	放課後等デイ	放課後等デイ	放課後等デイ	

4、八代圏地域療育センターからの支援

(理学療法士・作業療法士・心理士・言語聴覚士)

- ① 療育相談
- ② 勉強会

※ 八代圏地域療育センターと連携を図り、利用者のニーズに沿った専門性の高い支援を受けた。

5、利用状況

区分	開所 日数	児童発達支援			放課後デイ			月間 人数	一日 平均 人数	前年度 -1平均 人数	内 容	保 護 者 会
		利用 実人数	延べ 人数	欠席 人数	利用 実人数	延べ 人数	欠席 人数					
H26 4月	日 22	44	78	11	30	110	8	188	8.5	5.8	12 プロテ療育 23 避難訓練 30 支援日程調整会議	17. 18 特別支援教育 就学説明会
5	21	45	100	22	30	114	15	214	10.2	6.5	10 体操教室	26 氷川町就学相談
6	22	50	111	15	30	106	9	217	9.9	7.3	16 通所支援事業所連携会議 18 施設内研修・応急処置研修 27 地域療育関係事業所連絡会議 30 通所支援事業所スタッフ勉強会	
7	22	57	132	17	30	115	2	247	11.2	7.6	25 宮崎心理療法士支援(子ども総合療育センター) 26 体操教室 30 調理実習	2 八代圏域 保護者交流会
8	21	60	140	17	32	89	8	229	10.9	10.1	11 八代地域特別支援教育セミナー 22 おもちゃ作り教室	12 八代特別支援 教育セミナー
9	21	60	155	16	32	91	1	246	11.7	11.5	9 通所支援事業所連携会議 16 子ども部会 18 事業所(まいすてつぷ) 見学	
10	22	61	118	23	32	104	8	222	10.1	9.8	2 須藤保育士支援(子ども総合療育センター) 23 強度行動障害支援者養成研修	
11	19	61	128	23	32	86	11	214	11.3	11.2	7 県障害者虐待防止・権利擁護研修 17 バス乗車体験 25 オレンジ鉄道乗車体験	
12	20	60	112	17	33	99	6	211	10.6	11.3	3 食育勉強会 11 子ども部会 25 合同行事・音楽療法 26 おもちゃ作り教室	3 食育勉強会 25 合同行事
H27 1	20	60	105	20	32	91	13	196	9.8	10.3	8 通所支援事業所連携会議 28 須藤保育士支援(子ども総合療育センター)	
2	20	62	118	11	31	100	6	218	10.9	10.2	13 子ども部会 14 体操教室 16 おもちゃ作り教室 23 楠本理学療法士支援(子ども総合療育センター)	
3	23	63	129	20	30	111	14	240	10.4	9.1	14 体操教室	4 八代圏域 保護者交流会
計	253		1426	212		1216	101	2642	10.4	9.2		

6、評価 ○母子療育を基本とし、よりよい家族関係が育つよう支援した。また、保護者自身が子どもの成長に伴い、起こりうる問題に

対して解決していく力を持てるよう支援した。

○アセスメントや関係機関で知り得た情報をもとに個別支援計画を立て、より個別的な支援に心がけた。

○児童発達支援事業と放課後等デイサービスの割合が5：5になりつつあり、新規の受入が難しくなっている。

平成26年度八代圏地域療育センター事業報告書

平成 27 年 3 月現在

1、＜療育三事業＞

- ・療育相談員による個別相談
- ・専門職による発達相談、発達検査、各種評価、目標設定や関わり方など

※ 当センター専門スタッフの支援日数（平成27年1月現在）

◎理学療法士 ： 10日 ◎作業療法士 ： 22日
◎心理士 ： 42日

（1）在宅支援訪問療育等指導事業

●相談を受けたおちな内容

- ・発達相談や児の特性理解
- ・関わり方
- ・ケース会議（園・学校にて）
- ・療育について
- ・医療について
- ・学校について（就学先検討、見学、転校など）
- ・保育園について（入園、転園など）
- ・福祉サービス、福祉機器について
- ・発音について
- ・服薬について

●在宅障害児等に対し、訪問の方法により、各種の相談・指導を行った件数。

相 談 件 数		乳幼児	学齢児
		73	5
※相談に関わったスタッフ及び関係機関			
当 セ ン タ ー 専門スタッフ支援	理学療法士	1	0
	作業療法士	12	0
	心理士	0	0
保 健 師		29	0
学校教育課		2	0
相談支援事業所		1	0

● 各種の相談・指導を行った後の件数。

医療機関紹介	7
療育機関紹介	16
専門スタッフ評価	11
学校・園訪問	0
就学相談	2
学校見学	0
相談があれば対応する	44

(2) 在宅支援外来療育等指導事業

● 相談を受けたおもな内容

- ・発達相談や児の特性理解
- ・関わり方
- ・療育について
- ・医療について
- ・学校について
- ・保育園について（入園、転園など）
- ・福祉サービス、福祉機器について
- ・転入、転出に関する情報提供
- ・登園、登校しぐらについて
- ・保護者自身の受診、カウンセリングについて
- ・専門職による発達相談、発達検査、各種評価、目標設定や関わり方
- ・発音について
- ・ペアレント外来～親子関係のトレーニング～

● 在宅障害児等に対し、外来の方法により、各種の相談・指導を行った件数。

相談件数		乳幼児	学齢児
※相談に関わったスタッフ及び関係機関		129	82
当 セ ン タ ー 専門スタッフ支援	理学療法士	8	0
	作業療法士	22	0
保 健 師	心 理 士	29	8
		71	4
学校教育課		8	0
相談支援事業所		2	5

● 各種の相談・指導を行った後の件数。

医療機関紹介	32
療育機関紹介	26
専門スタッフ評価	13
学校・園訪問	2
就学相談	1
学校に情報提供	1
相談があれば対応する学校に情報提供	141

(3) 施設支援一般指導事業

● 相談を受けたおもな内容

- ・発達相談や児の特性理解
- ・関わり方、目標設定
- ・専門的評価と関わり方
- ・就学児の移行支援
- ・ケース会議、情報提供
- ・保護者へのつなぎ
- ・保護者への対応、家庭環境の調整
- ・クラス全体のまとめ方
- ・療育の視点、体制、課題について
- ・個別支援計画について
- ・勉強会実施

● 児童発達支援事業、障害児保育を行う保育所等の職員に対し、在宅障害児等の療育に関する技術の指導を行った件数。

	保育園		幼稚園		子育て 支援セ ンター	小学校	事業所	
	公立	私立	公立	私立				
相 談 件 数	実 施 設	12	29	6	2	1	5	5
	延 べ 施 設	56	83	11	3	3	9	7
※相談に関わったスタッフ及び関係機関								
当センター 専門スタッフ	理学療法士	3	6	0	0	0	0	0
	作業療法士	7	11	3	0	0	0	0
保 健 師		59	118	16	6	0	0	0

2、熊本県こども総合療育センターからの地域への支援（療育拠点施設事業）

- 八代圏域に月6回の専門職の先生方からの支援を受けた。

		熊本県こども総合療育センター支援スタッフ					
		療 育 長	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	心 理 士	保 育 士
通所支援事業所		1	6	5	8	17	7
学 校			5		3	1	

3、研修会依頼

- ・ 8月 平成26年度第2回八代特別支援教育セミナー

4、その他

- ・ 県教育事務所との連携
 - 1) 八代地域特別支援連携協議会
 - 2) 八代地域特別支援教育セミナー
 - 3) 八代地域特別支援教育相談会
- ・ 八代市学校教育課並びに氷川町学校教育課との連携
 - 1) 八代市特別支援連携協議会就学指導委員会
 - 2) 八代市特別支援教育体制推進事業での専門委員としての役割
 - 3) 就学説明会
- ・ 氷川町5歳児健診
- ・ 八代市障がい者支援協議会
- ・ 地域の保護者会への支援（八代圏域保護者交流会2回実施）
- ・ 八代圏域障害児通所支援事業所の連携（連絡会議・合同勉強会）

平成26年度 共同生活援助事業 グループホームおおぞら荘 事業報告書

1. 設置目的

就労し又は就労継続支援等の日中活動を行っている利用者(知的障害者・精神障害者)に対して、地域において共同して自立した日常生活ができるよう必要な支援を行うことを目的とする。

- (1)設置者

(2)ホーム名称

(3)ホーム所在地

(4)事業開始年月日

(5)定員
- 社会福祉法人 八代市社会福祉事業団

グループホームおおぞら荘

八代市麦島東町4号8番地・12番地

平成21年6月1日

6(男3・女3)

2. 入居者状況(平成27年3月31日現在)

(1)定員6(男3・女3)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		入居者	6	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	
			入居	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
助事業 地域生活 支援		退居	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2)性別

男女別	人数	計
男	3	3
女	3	3
計	6	6

(3)市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	3	3	6
計	3	3	6

(4)平均年齢

性別	総年齢	平均年齢
男	122歳	40歳
女	180歳	60歳
計	302歳	50歳

(5)障害種別

性別	知的	精神	計
男	3	0	3
女	3	0	3
計	6	0	6

(6)年齢別

性別	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～60歳	61歳以上	計
男	0	1	2	0	0	3
女	0	0	0	1	2	3
計	0	1	2	1	2	6

3. 対象者

対象者	対 象 者 像
知的障害者・ 精神障害者	健康で就労し又は就労継続支援等の日中活動を利用している知的障害者・精神障害者

4. 職員配置

管理者	サービス管理責任者	世話人
1	1（管理者との兼務）	4(4対1)

5. 支援内容

(1) 日常生活支援

- ①居室清掃支援
- ②入浴への支援
- ③衣服の洗濯及び衣服の整理整頓への支援等
- ④買物への支援
- ⑤衣服の着脱への支援

(2) 共同生活支援

- ①浴室清掃支援
- ②地域清掃支援
- ③食前の準備、食後の後片付け及び食器洗い等への支援
- ④余興の過ごし方への支援

(3) 健康管理支援

- ①検温への支援
- ②薬の服用への支援
- ③歯磨き支援(食後)
- ④春～夏場において、健康作りで20分程度公園等で徒歩を行った。
- ⑤希望の里たいようと連携を取りながら対応した。

6. 支援計画

支援については、サービス管理責任者が、個別支援計画の原案の内容について、入居者又はその家族に対して説明し、文書により入居者の同意を得ることとし、個別支援計画を作成した際は、入居者へ交付し支援にあたってきた。

この個別支援計画は6ヵ月に1回以上定期的に個別支援計画の見直しを行い、必要に応じて、個別支援計画の変更を行ってきた。

7. 地域との交流(地域貢献)

毎月、グループホームおおぞら荘周辺の地域清掃(空き缶拾い、ごみ拾い)を行った。

8. 支援結果(まとめ)

- (1) 日常生活支援

- ① 全員が挨拶等大きな声できるようになってきた。
- ② 自分自身できることは、自ら行うを基本にしてきた。(時々支援が必要)
- ③ 入居者各々が自分自身の居室については、掃除を行い清潔さを保った。(時々支援が必要)

(2) 共同生活支援

- ① 自由時間はテレビを見たり、買い物に出かける等楽しく過ごしていた。
- ② 外出した場合ホームへの帰宅時間等も各々が守れた。
- ③ お風呂の掃除、食前の配膳及び食後の後片付け(食器洗い)等もお互い協力し合い交替で行ってき
た。
- ④ 毎月、地域の清掃(ごみ拾い、空き缶拾い)に入居者全員が積極的に行った。
- ⑤ 毎月、避難訓練の実施

(3) 健康管理支援

- ① ホームへの帰宅後は手洗いうがいの励行に努めた。
- ② 毎朝、自ら検温を行い健康管理に努めた。
- ③ 体調が悪い時には、自ら申し出があり、世話人の方で対応してきた。
- ④ 春から夏場にかけて入居者全員が体力づくり及び健康維持の目的で楽しく、散歩を行った。

(4) 日中活動等への参加状況

就労場所	実 員	事業名	作業種目		
			買物カゴ	公園作業	ペン製造
八代市立希望の里 たいよう	(男2・女3)	就労移行支援事業			
		就労継続支援B型事業	1	3	1
有限会社ホーヅクリ ーニング八代工場	(男1名)	八代市海士江町2332-4		1	
地域移行	該当者無				

病気以外は休むことなく日中活動への参加を楽しみにしている。

平成 26 年 度 行 事 実 施 表 (グループホームおおぞら荘)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	交流	研修会関係
4	3 レクリエーション 26 地域清掃	17 消防設備点検 26 避難訓練	18 世話人会議		
5	24 地域清掃 26 家族会 31 すまいるフェスタ2014参加	24 避難訓練	16 世話人会議		
6	28 地域清掃	28 避難訓練	18 世話人会議		
7	5 いきいきふくしスポーツ大会 26 地域清掃	26 避難訓練	18 世話人会議		11 熱中症夏バテ防止研修
8	23 地域清掃	23 避難訓練	21 世話人会議		
9	27 地域清掃	27 避難訓練	19 世話人会議		
10	18 地域清掃 24～25 利用者研修旅行 (佐世保)	18 避難訓練	16 世話人会議		
11	8 第6回たいよう祭参加 21 誕生会 22 ふれあいフェスタ参加 29 地域清掃	29 避難訓練	21 世話人会議		
12	20 忘年会 27 大掃除	27 避難訓練	19 世話人会議		20 感染症研修会
H27. 1	17 新年会 24 地域清掃	24 避難訓練	20 世話人会議		
2	21 地域清掃	21 避難訓練	20 世話人会議		
3	28 花見 28 地域清掃	28 避難訓練	19 世話人会議		

平成26年度 障害福祉サービス事業所 八代市立希望の里たいよう 事業報告書

1. 設置目的

常時介護を要する利用者への食事、入浴、排せつ等の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他、身体機能又は生活能力維持向上のための支援、又は、通常の事業所に雇用されることが困難な利用者への就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い自立した日常生活又は社会生活ができるよう支援をすることを目的とする。

2. 利用者登録状況(平成27年3月31日現在)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	27/1	2	3	合計
	登録人員	11	11	12	14	13	13	13	13	14	14	13	13	13
生活介護	入所	1		1	2					1				5
	退所					1						1		2
	登録人員	12	13	13	10	10	10	11	11	11	11	10	11	11
就労移行支援	入所		1	1			1	1					1	5
	退所			1	3		1					1		6
	登録人員	61	59	59	61	63	64	64	64	62	62	62	62	62
就労継続支援B型	入所				2	3	1					1	1	8
	退所		2			1				2		1	1	7
	合計	84	83	84	85	86	87	88	88	87	87	85	86	86

① 定員77名 (生活介護事業12名・就労移行支援事業10名・就労継続支援B型事業55名)

※出勤稼働率 94 %

② 性別

事業別	男	女	計
就労移行支援	7	4	11名
就労継続支援B型	40	22	62名
生活介護	8	5	13名
合計	55	31	86名

④ 市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	50	31	81名
氷川町	2		2名
芦北町	2		2名
菊陽町	1		1名
合計	55	31	86名

③ 平均年齢(満年齢)

性別	総年齢	平均年齢
男	2, 386. 4	43. 4
女	1, 322. 1	42. 6
合計	3, 708. 4	43. 0

⑤ 障害種別

	生活介護	移行支援	継続B型	計
知的	6	5	45	56名
身体	7	2	15	24名
精神		4	2	6名
合計	13	11	62	86名

⑥ 年齢別

	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳 以上	合計
男	2	10	4	1	5	11	12	10	55名
女	0	2	3	2	7	8	6	3	31名
合計	2	12	7	3	12	19	18	13	86名

3. 職員配置状況(平成27年3月31日現在)

職 種	生活介護 常勤換算後の人数	就労移行支援 常勤換算後の人数	就労継続支援B型 常勤換算後の人数	計	
				職員数	
管理者	1	1 兼務	1 兼務	1	1
サービス管理責任者	1 兼務	1 兼務	1	1	1
看護師	1			1	1
職業指導員		1	6. 5	7. 5	
生活支援員	2	1	2	5	
就労支援員		1		1	
事務員兼指導員	1	1	1 兼務	2	
合 計	5	4	9. 5	18. 5	

4. 事業実施内容(生活介護事業・就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)

① 対象者

生活介護事業	就労移行支援事業	就労継続支援B型事業
・常時介護が必要な者で障害程度区分3以上の利用者、または年齢が50歳以上で障害程度区分2以上の者。	・一般就労を希望する65歳未満の者。利用は原則2年間。	・就労経験がある者で、年齢や体力の面で企業や就労継続支援A型等で雇用されることが困難となった者。 ・就労移行支援事業を利用した結果、就労継続支援B型の利用が妥当と判断され、企業や就労継続支援A型事業の雇用に結びつかなかった者。 ・既に50歳に達している者。

② 支援計画

支援にあたっては、利用者個々の特性、性格、能力及びその家庭環境を総合的に把握し利用者本人及び家族の要望、意見等を十分に聞き、各一人一人に適した個別支援計画を定め計画に基づき支援に当たってきました。また、この支援計画は必要に応じて、見直しを行い支援に当たってきました。

(生活介護・就労継続支援B型は、6ヶ月に1回以上・就労移行支援は、3ヶ月に1回以上)

生活介護(生産活動)

・フールツキヤツ折・ボール・箸入れ・ビーズ

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
2 名	13 名	27 件	244 日	2,005 人	317,000 円	92,056 円
作業を通じて指先等のリハビリ効果に繋がった。						

・就労移行支援事業

(職業指導支援)

・印刷事業

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
3 名	14 名	1,238 件	243 日	2,092 人	11,000,000 円	14,114,831 円
オンラインで印刷機の導入等により受注幅が拡がり収入増額に繋がった。						

・パベ製造・販売事業

職員数	利用者数	年間個数	延べ日数	延べ人員	パベ種類	目標額	実績額
3名	13 名	43,405 個	237 日	2,240 人	45 種	8,001,000 円	6,342,866 円
主な販路は、委託販売として、(ハ)代市役所売店、マックスバリュ、その他)対面販売として、(各イベントへの参加、官公庁、福祉施設、学校関係、一般企業等へ)販売を展開してきた。新しくカツナキーの受注販売を行い、実績額は前年度より増額になった。							

・就労継続支援B型事業

(職業指導支援)

・買物カゴ洗浄事業

職員数	利用者数	個数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
2 名	12 名	696,990 個	244 日	2,574 人	8,211,000 円	7,377,368 円
カゴ洗浄受注数(個数)は、年々減少している。利用者の減少か他店舗の増加によるものと思われる。						

・公園作業

職員数	利用者数	作業場所	目標額	実績額	
3 名	19 名	・麦島東公園・水無川公園 ・末広公園・上片墓園 ・金剛自然観察者用駐車場	4,615,000 円	5,010,587 円	
・麦島東公園		作業稼働日数	148日	延べ人員	2,470 人
・末広公園		作業稼働日数	110日	延べ人員	1,812 人
・水無川公園		作業稼働日数	130日	延べ人員	2,182 人
・金剛自然観察者用駐車場		作業稼働日数	93日	延べ人員	1,553 人
・上片墓園(新規)		作業稼働日数	112日	延べ人員	751 人
・上片墓園の新規契約による増収。					

・軽作業

職員数	利用者数	作業種類	目標額	実績額
2名	15名	フルーツキャッツ折・箱折・EMボカシ販売・ボール洗浄・カート清掃		
	作業種	個数	延べ日数	延べ人員
	フルーツキャッツ折	1,080,686 個	241 日	2,060 人
	箱折	134,297 個	74 日	298 人
	箱製缶	246,741 個	228 日	1,490 人
	ボール洗浄	72,000 個	29 日	191 人
	EMボカシ製造・販売	2,920 個	31 日	91 人
	カート清掃	940 台	93 日	147 人
重度者向けの作業種目として位置付けて実施してきた。全員が協力し作業を行った結果、目標額を達成することができた。箱折、箱製缶の個数増。				

③ 利用者月額平均工賃

(全体の平均)

生活介護 13名	就労移行 11名	B型事業 62名	一人当たりの月額平均工賃
3,095 円	14,114 円	16,079 円	13,900 円

5. 移行支援事業 就労基本訓練

・期日 毎週火・木曜日 ・時間 15:30～16:00 ・対象者 10名 ・指導者 2名	・就労への意識付け ・就職に必要な心構えについて ・挨拶の重要性について ・履歴書の書き方 ・パソコンに関する知識の向上
---	--

以上の就労基本訓練を行った。

6. 送迎サービス

たいよう送迎利用者			徒歩	自転車	自家用車送迎	自家用車	
コース	車種	人員					
南廻り（郡築方面）	リフト付きマイクロバス	18名					
北廻り	29人乗りマイクロバス	18名					
鏡町廻り	8人乗りワゴン	6名	3名	15名	6名	7名	
坂本廻り	4人乗りワゴン	5名(2回)					
日奈久廻り	4人乗りワゴン	3名					
金剛廻り	8人乗りワゴン	5名					
計	6台	55名	3名	15名	6名	7名	
合 計	86 名						

※送迎支援を実施した結果

- ・利用者定員の確保に繋がった。
- ・出勤時の交通事故防止に繋がった。

7. 日常生活支援

- ・基本的生活(挨拶、身だしなみ、清潔等)金銭管理、交通安全等の支援
- ・自立するための段階的な支援
- ・利用者間のトラブルの未然防止に努める。(意見箱設置、口頭による意見要望)
- ・利用者の悩み、問題等への相談支援を行ってきた。

8. 健康管理

- ・毎月1回の身体測定(身長、体重、血圧、体温)年一回の健康診断の実施
- ・毎朝、体操の支援、健康状態の把握に努めた。

9. 第6回希望の里たいよう・千の穂合同祭

- ・期日：平成26年11月8日(土)実施(利用者や地域住民の方の歌や踊り等で終日楽しく交流ができた。)
- 来場者約900名
- ・毎月1回施設周辺の清掃を行った。(ゴミ拾い、空き缶拾い、草取り)

10. 支援結果

(1) 生活介護事業

- ・食事、入浴、トイレ介助は、利用者に合わせ個別支援を行った。
- ・軽運動

嘱託医の指導により平行棒を使った歩行訓練、バランスボールでの平行感覚等を個々に合わせた機能維持訓練を行った結果、①肥満傾向にあった利用者が減量できた。②歩行が困難な利用者の下肢の強化に繋がった。

・学習活動、創作活動

- ① 数字、文字等繰り返し学習することで少しずつ習得されてきた。
 - ② 余暇活動では、ドライブ等で季節感を養うことができた。
- ・重度の利用者(区分5)に対しては、職員を増員し、1対1での対応を行った。

(2) 就労移行支援事業

① パン製造・販売

- ・利用者各々が作業に対して責任感が出てきている。
- ・パン販売をとおして、接客、電卓、レジ等の技術向上に繋がった。
- ・毎日、朝礼時に挨拶・接客時の声だし訓練(いらっしやいませ・ありがとうございました)を行うことで全員が大きな声でいえるようになってきた。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。

② 印刷作業

- ・印刷関連機器(パソコン、製本機、リリ付け機、計数機)の操作について利用者の技術向上がみられる。
- ・切り取り線入れについては、支援を必要とせず利用者一人で行うことができるようになった。
- ・指導により作業上で使用する数字の把握ができるようになってきた。
- ・全体的に利用者の自主性、集中力、忍耐力、持続力等が身についていた。又、作業技術の向上に繋がった。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。

(3) 就労継続支援B型事業

①買物カゴ洗浄作業

- ・利用者が作業を幅広くできるようになるため作業配置の交代制を導入した結果、全体的に作業技術の向上に繋がった。
- ・毎日の朝礼、終礼時に挨拶や返事の重要性について強調した結果、自らの大きな声で挨拶と返事が言えるように成長に繋がった。
- ・何事にも自主的に行動に移せるようになってきた。
- ・持続性、協調性について身についてきた。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。

②公園作業

- ・個別指導により、利用者の草刈り機、芝刈り機等の操作技術が向上に繋がった。
- ・作業を通じて協調性、忍耐力が養われてきた
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきたと

③軽作業、

- ・挨拶、返事が積極的に大きな声で言えるようになってきた。
- ・フルーツキャップ折、箱折り、カート清掃、ボカシ製造等を通して、勤労意欲が高まり、同時に協調性、持続性が身についてきた。又手先等の機能回復に繋がった。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。
- ・自閉的傾向の利用者が(足、頭、鼻等を石鹸で必要以上に洗い、泡だらけになっている状況があった)、職員が連携した取り組みにより改善ができたが、注意観察が必要である。

(4)一般就労移行者(就職)

就労移行支援事業

事業名	氏名	性別	年齢	採用日	就職先
就労移行支援事業	該当者無				

就労継続支援B型事業

事業名	氏名	性別	年齢	採用日	就職先
就労継続支援B型事業	該当者無				

平成 26 年 度 行 事 実 施 表

(八代市立希望の里たいよう)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	作業実習生関係	交流	研修会関係
1	1 イオンデパートより訪問 19 家族会総会/ビデオ鑑賞 14,28 就労移行勉強会	30 避難訓練	8 臨時職員会議 14 生活介護会議 16 移行支援会議 18 継続B型会議 21 職員会議		25 あさひヶ丘より見学	18 すまいるフェスタ実行委員会 25 市障がい者福祉事業所連絡会総会
4						
5	1 イオンデパートより訪問 10 レクリエーション (21-7-4見学) 12 就労移行勉強会 17 レクリエーション (ゲーム大会) 31 すまいるフェスタ2014参加	21 消防署立入検査 30 避難訓練	12 生活介護会議 14 移行支援会議 15 継続B型会議 21 職員会議	30 八代支援学校	12 スキップより見学 22 松橋西支援学校より見学 26 すまいるより見学	16 すまいるフェスタ会議 27 就労ネットワーク会議 30 すまいるフェスタ準備
6	3 利用者健康相談 (田瀬先生来所) 5,6 利用者健康診断 9,23 就労移行勉強会 21 レクリエーション (ドライブ)	30 避難訓練	16 生活介護会議 16 移行支援会議 18 継続B型会議 23 職員会議	9-13 八代支援学校 16-20 松橋支援学校 6/21-7/1中九州短大 17-19 八代第三中学校 23,27,30 体験実習	4 養馬校区民原協より見学 10 7-ツヨツ 八代より見学	3 安全管理講習会 3 市障がい者福祉事業所連絡会議 5 中九州短大実習説明会 11-13 就業支援基礎研修 24 就労ネットワーク会議
7	5 八代市いきいき福祉スーポ-大会参加 8 社会科学習 (熊本市方面:ハンズ班) 10 たいよう休み (台風接近の為) 14,28 就労移行勉強会 24,25 利用者健康診断 26 レクリエーション (ドライブ)	29 避難訓練	14 生活介護会議 16 移行支援会議 17 継続B型会議 23 職員会議	6/21-7/1中九州短大 15-17 八代第五中学校	29 松橋支援学校より見学	9,16 県相談支援従事者初任者研修 11 熱中症・夏バテ防止 (内部研修) 24 就労ネットワーク会議 25 八歳連グループホーム入館強会 25 城南ワロック施設委員会 28 福祉サービ-ス事業所説明会
8	9 レクリエーション (ドライブ) 8,22 就労移行勉強会 19 利用者健康相談 (田瀬先生来所) 27 レクリエーション (カラオケ)	26 消防総合訓練	11 生活介護会議 17 移行支援会議 18 継続B型会議 19 職員会議	8/18-9/2 中九州短大 2-3 熊本学園大学 3-19 中九州短大 22 松橋支援学校 26 八代支援学校	24 光の里より見学	10 食品衛生講習会 28 就労ネットワーク会議 29 会計実務研修
9	9 たいよう祭内部会議 11 八代学園ふれあい学園祭に参加 14 社会科学習 (宇土市方面:軽作業班) 14,27 就労移行勉強会 18 たいよう祭実行委員会 31 社会科学習 (福岡方面:印刷班)	31 避難訓練	15 移行支援会議 16 生活介護会議 17 継続B型会議 22 職員会議	1 八代支援学校より見学 2 市民原協障がい部会見学	3 名 6名	1 名 1 名 1 名
10	2 みなとフェスタ (パン販売) 7 たいよう祭準備 8 第6回たいよう祭 10 就労移行勉強会 13 レクリエーション (ドライブ) 22 八代市ふれあいフェスタ参加 29 レクリエーション (ウオーキング)	27 避難訓練	17 継続B型会議 18 生活介護会議 18 移行支援会議 20 職員会議	12 八代支援学校 18 八代支援学校	12 ふらすより見学 18 八代高田小2年生見学 18-21 光の里職員現場研修	26 就労支援セミナー
11						
12	1 写真・パナール展示会 (市役所) 6 レクリエーション (DVD鑑賞) 8,22 就労移行勉強会 10 社会科学習 (熊本市方面:公園班) 15 レクリエーション (ドライブ) 20 内部研修 (感染症研修) 利用者・家族・職員との交流会 25 大掃除 26 餅つき会・利用者仕事納め	26 避難訓練	15 生活介護会議 16 就労移行会議 17 継続B型会議 18 職員会議	16 永正より見学	5名	4 サービ-ス管理責任者研修 5 障がい者虐待防止権利擁護研修会 12 中九州短大実習説明会 17 施設協会施設長会議 24 就労ネットワーク会議
5	5 仕事始め 8 八代市事務監査 10 レクリエーション (初詣) 16 社会科学習 (熊本市方面:カ-コ班) 17 レクリエーション (銭湯き) 23 利用者健康相談 (田瀬先生来所) 24 レクリエーション (高田公民館祭) 26 就労移行勉強会 30 レクリエーション (DVD鑑賞)	29 避難訓練	13 生活介護会議 14 就労移行会議 15 継続B型会議 21 職員会議	14 八代更生病院より見学 29 特別支援学校より見学	2 名 10名	22 サービ-ス管理責任者研修
9,23 就労移行勉強会 14 レクリエーション (ドライブ) 23 交通安全教室	26 避難訓練	16 生活介護会議 17 就労移行会議 18 継続B型会議 20 職員会議	2-18 中九州短期大学 5-6 八代支援学校 23-3/10 中九州短期大学	9 かんねざこ荘より見学 18 熊大病院より見学	12-13 サービ-ス管理責任者研修	
3	3 レクリエーション (ドライブ) 9,23 就労移行勉強会	20 消防総合訓練	16 生活介護会議 17 継続B型会議 18 就労移行会議 19 職員会議	2/23-3/10 中九州短期大学 23-26 中九州短期大学	2 名 2名	10-11 サービ-ス管理責任者研修 11 食品衛生責任者養成講習 12-13 サービ-ス管理責任者研修 13 すまいるフェスタ会議 18 施設協会評議員会 25 指定障がい福祉サービ-ス事業者指導
合計			体験実習件数 22件 体験実習延べ人数 38名	22件 197名		